

事業所名 グループホームうえつき
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成18年 3月 9日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A: 現職 生活指導員
資格・経験 介護支援専門員、 N-4 レベル-2級、社会福祉主事、訪問介護員
B: 現職 介護支援専門員
資格・経験 介護支援専門員、介護福祉士、社会福祉主事、 N-4 レベル-2級、訪問介護員(7年)

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</p> <p>ホームは「第二の我が家」として、入居者の意志を中心に今までの生活を継続し、精神的に落ち着いた毎日が送れるように努めている。</p> <p>職員は家族の一員として、ある時は入居者の子供・孫となり、親密な関係が生まれるように努めている。</p> <p>地域との連携・啓発を大切にしており、誰でも気軽に相談でき常に地元に着したホームを目指している。</p> <p>入居者の身体機能維持・認知症緩和に繋がるケアを常時考え、実行する取り組みを行っている。</p> <p>ホームの代表者は医師でもあり、認知症緩和の新たな取り組みを研究し、活用して入居者に自信を持たせている。職員一同、生きる意欲を引き出すように取り組んでいる。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>入居者個々の居場所作りをしており、一人でいても孤独感はなく、見守りの中、自由に気楽に生活出来るように取り組んでいる。</p> <p>職員が子供連れで出勤することを歓迎しており、時には子供連れで出勤することもある。入居者は孫が出来たと喜ばれ、精神的な好影響をもたらしている。小学生・保育園児たちの来訪もある。</p> <p>職員は、日中は極力ホールで皆が一緒に触れ合うように心掛けており、接触・交流の中でフラストレーションを取り除き、落ち着いた穏やかな毎日になるように取り組んでいる。</p> <p>入居者本人の希望を大切にして、自由に活動を見守っている。また、職員は積極的に入居者の話し相手となり、将棋を共に習うなど一緒に過ごすようにし、入居者に落ち着きとやる気を育むようにしている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

東北那岐山麓に続く小高い丘陵地にあり、「うえつき」という地名よりグループホーム名を命名している。風光明媚な場所で国道も直ぐ側を通り、環境の良いロケーションである。

法人代表者・理事長共に医師ということもあり、医療と結びついた認知症介護と健康管理が十全に行われている。母体法人・関連法人併せて県内に6カ所のグループホームを開業し経営しており、しっかりとしたノウハウが蓄積されている。

理念として掲げる「第二の我が家」に向かって入居者が自分らしい生活を送れるように、また、以前と同じペースで暮らせるように支援している。

管理者は「グループホームうえつき認知症対応ケア方針」に基づき、認知症介護の実践に熱意を持ち、職員は管理者を中心に一つによくまとまっている。職員が定着していることで人的環境の変化が少なく、精神的に安定したケアが出来ている。

法人代表のコンセプトに基づき、認知症を抱える家族の環境・地域への貢献を考慮し、入居者にとって比較的安価な費用を設定しており、安心して入居生活を送れる。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

自主評価でも買物支援が要改善とされているが、買い物は社会生活の重要なファクターであり、本人の社会性回復上大切なことでもある。また、外出の理由・目的ともなる。買い物支援について積極的に配慮すれば、より地域との交流も進み、ホーム生活の潤いとなっていこう。

職員会議等チームミーティングはよく行われており、内容も充実しているが、職員会議の内容が記録として残されていない。系統的に記録すれば検討内容の流れを掴んで理解でき、介護技術向上・事故再発防止等に、より確実性を期待出来ると思われる。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</p> <p>入居者の生活歴・趣味などを詳しく把握し、得意分野とされることを楽しみごと・趣味・日常生活に生かしている。本人の能力・経験を尊重し、生き甲斐を持ってもらうように取り組んでいる。</p> <p>居室はいつもノックして入り、居室内の片付けも本人の了解の上で行うようにし、入居者本人のプライバシーと尊厳を大切にしている。</p> <p>本人が特定される書類等個人情報は事務室に保管し、不要の書類は全てカットして処分するなど、入居者個人のプライバシーを保護している。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</p> <p>管理者はミーティング時に研修会での内容を報告している。お互いに検討し合い、研修内容を共有してケア技術向上に努めている。</p> <p>事務室には、入居者個人の写真の裏に連絡先を記入して封筒に入れ分りやすい場所に保管しており、緊急時には直ちに対応出来るように体制を整えている。</p> <p>事故・ニアミスに至るまで残らず報告し、記録するように徹底しており、それをもとに職員会議で検討し、再発防止に努めている。</p>		